

三永水源地のサクラ

毎年3月になると、ソメイヨシノの開花予想日がニュースになる。どこがトップになるかは一定しないものの、北九州から瀬戸内海、静岡に至るゾーンを出発点として、南北に広がっていく。
(21世紀初頭の感覚)

広島市は早い、トップになったことはない。東広島市は標高220mの高地にあるので、それから何日か遅れることになる。一応の計算式は、標高100mにつき約3日遅れだそう。ところが咲き始めに強い南風が吹いたりすると、一気に追いついてしまう。

三永水源地のサクラは、さほど本数があるわけでない。遅れて咲くフジの方がずっと有名だ。しかし、北斜面にある鏡山公園のサクラより周りに暖かい雰囲気がある。

サクラのころ、平日には、若いお母さんと幼い子どもが遊び、中年のオバサンやオジサンがチラホラ。広島大の学生が研究室のコンパを開く風景もない。その意味では穴場なのかもしれない。



三永水源地のサクラ。手前のフジの木は待機中。03年4月10日撮影



1本だけあるしだれ桜。04年4月2日撮影



松越しの桜。05年4月11日撮影



2008年4月9日撮影

